

令和7年7月13日

自由民主党

組織運動本部長 小渕 優子 様

自由民主党島根県支部連合会

会 長 絲 原 徳 康

幹事長 園 山 繁

不用意な発言への抗議について

鶴保庸介参院議員が和歌山市内で参議院議員候補の応援演説を行った際、二つの生活拠点を置く「二地域居住」が去年の能登半島地震をきっかけに進展したという趣旨の説明をする中で、「運のいいことに能登で地震があった」と発言したことは、被災者や復興にあたっている人たちの心情を軽視するとして大きな批判を受け、自民党の森山裕幹事長は嚴重注意を行ったとのことですが、酷暑の下で劣勢が伝えられている与党への影響は計り知れないほど大きいと言わざるを得ず、参議院選挙を必至で戦っている自民党の候補者や関係者からは大きな怒りの声が上がっています。

鶴保議員は参議院議長に予算委員長の辞職届を提出したとのことですが、島根県連が7月10日と11日に開催した地域支部幹部との情勢検討会では、この時期に修正が利かない不用意な発言にはもっと厳しい処分を行うべきで、党本部が主導してしっかりとしたコメントを発しなければ、衆議院選挙よりもさらに悲惨な結果となるとの悲痛な意見がありました。